

埼玉県熊谷県税事務所長賞

税金について

熊谷市立妻沼西中学校 三年 坂本 茉莉

私は中学二年生の総合的な学習の時間に「税金」をテーマに調べたことがあります。私はその学習で「税金はとても大切だ」ということがわかりました。なぜなら、私たちの生活に税金というものがなくなったらすごく困るからです。

税金がなくなるわけですから、消費税や酒税、たばこ税もなくなります。喜ぶ人もいると思います。ですが、よく考えてください。警察官や救急車は何で動いていますか？それは、税金です。税金がなくなったら、何かあったとき助けてくれる人はいません。急に人が倒れても救急車はきてくれません。そして高齢化社会が進んでいるこの時代、お年よりの方々は何で暮らしていますか？お年寄りの方々は働けないので収入がありません。では、どうやって暮らしているのでしょうか？答えは国からもらっている年金です。この年金ももちろん税金で、私たちが払っているお金です。この年金がなくなったら、お年寄りの方々は生きて行けません。私たちだって年をとり、定年退職した後年金がなくなったら生きて行けません。だからこそ、税金はとても大切で、私たちになくてはならないものなのです。

消費税の増額について反対する人がたくさんいます。確かに私も値段が高くなるのは嫌です。反対する人たちの気持ちもよくわかります。ですが、よく考えてみると、その私たちが払った税金は無駄に使われているわけではありません。先程のように、税金は日本を住みやすく、安全で快適な社会につくりあげるためのものではないでしょうか？私はそう思います。日本人の皆さんも安全で快適な生活を求めているでしょう。求めているのにも関わらず、消費税の増額に反対というのは、話が矛盾していると思いませんか？消費税が増額するのは、安全で快適な生活にするための手段だと思います。なのに、快適な生活がしたいけど、お金は払いたくない。これでは社会は変わらないと思います。一人一人が心を変えていくことが安全で快適な生活を送るための第一歩だと思います。

これからは、一人一人が税金を理解し、協力し合っていくことが大切だと思います。そして消費税の増額に反対する人たちも、自分のことだけでなく、税金がないと生きていけない人たちのことも考えるべきだと思います。そうすれば、きっと考えが変わるはずです。皆さんも、もう一度税金のことを考え直してみたらいかがですか？